

J-DESC 第16回マントル掘削WG会合 議事メモ

【日時】 令和5年6月20日(火) 15:00-16:00 オンライン会合

【参加者】(敬称略): 秋澤、阿部、海野(WG長)、小野、片山、島、針金、富士原、道林、森下、山下、末廣(アドバイザー)、斎藤、木戸、監物(J-DESC事務局)

【欠席者】(敬称略): 石橋、稲垣、黒田、鈴木、柵山、草野、山田

1. 第15回会合の議事メモ案の承認及びHP掲載について

- 第15回会合の議事メモ案について、6月21日までに連絡がなければ承認とし、ホームページに掲載する。

2. Exp. 399 Building Blocks of Life, Atlantis Massif 乗船報告

阿部委員より、以下のとおり Exp. 399 (2023/04/12-06/12, JR号) の乗船報告があった。

- 2か所での掘削を予定していたが、蛇紋岩サイト(Hole U1309D)で予定よりも速く掘り進めることができたため(掘進率: 蛇紋岩 6.3 m/hr > 斑れい岩 2.8 m/hr)、そちらを優先することとして1,267mまで掘削し、ハードロック掘削で5番目に深い掘削となった。コア回収率70%と非常に良かった。
- 掘削直後の温度計測の結果から、孔内の平衡温度を予想すると、どこかでLimit of Lifeを超えている可能性もあるので、新たな発見があるかもしれない。数年後に孔内温度計測を実施予定。
- 9月~10月に shipboard sampling party を予定している。personal sampling party は2024年2月~3月頃に予定。
- 航海中に地質標本館、JpGU2023会場との中継イベントを行い好評であった。
→JR号のアウトリーチは非常に活発に行われているので、下船後も活用していきたい。
- ワシントンポストに「マントルが掘れた」という記事が出て問合せが多く来た。
- 2nd post cruise meeting の開催候補地として、幌満を提案している。他に上海(中国)、リグリア(イタリア)が挙げられている。実施時期は2025年秋もしくは2026年春の予定。

3. 「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想(ロードマップ2023)」への申請

- 金沢大学学長を提案者として提出した日本学術会議「未来の学術振興構想」については、9月を目途に学術会議でとりまとめられる予定とのこと。
- 文部科学省「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想(ロードマップ2023)」(実施期間5~10年、予算総額数十億~2000億円のプロジェクト)に金沢大学学長名で提出する予定。6月末に書類提出締め切り。
- 2050 Science Framework を実現するための岩石掘削の実施、2年に1回のバーチャル航

海の開催（機器整備含む）の実施を目的としている。また、10年後のプロジェクトを担う人材育成・若手の教育も含む。

マントル掘削 WG メンバーは参加メンバーと認識している。必要に応じて、氏名も含めて記載させていただくことを了承いただきたい。また、申請書の作成に必要な情報についてWGメンバー各位にご協力をいただく可能性がある。

- 連携機関は、J-DESC 会員の 50 機関とする予定。
- 日本地球惑星科学連合、日本鉱物科学会、J-DESC、（地質学会；保留）からの推薦レターを提出予定。

4. 次期国際海洋科学掘削プログラム（IODP³）や国際 WS 等について

以下について、J-DESC 事務局より報告があった。

- 現行 IODP の航海予定、「ちきゅう」スケジュールについて報告があった。
- 4月にIODP Forum、5月にJR Facility Board(JRFB)、6月にChikyu IODP Boardが開催された。SEPは6月28-29日、ECORD Facility Board(EFB)は9月を予定している。
- IODPの後継のプログラムについて、ECORDと協議をしてきたが、International Ocean Drilling Programme (IODP3=IODP-cubed)という名称で2025年1月に発足する予定。ECORDと日本がプラットフォームを提供しCore memberとなる。他に一定額を拠出するAssociate member、一時的に参加するTemporary memberのカテゴリーがあり、これらで新しいプログラムを運用していく。
- Science Support Officeを組織し、現在と似たようなSEP、facility boardを置く予定。
- 新しいfacility boardが立ち上がるまでは、EFBとCIBが共同で実施する。
- IODP³については、J-DESC NEWS 号外、ECORD Headline（5月19日に同時リリース）に概要を掲載しているのでご参照いただきたい。（https://j-desc.org/post-2024_iodp3/）
- 現在JRFBにある提案をいかにして移行するか、
- 日欧共催WS（Workshop on the future of Scientific Ocean Drilling with Mission-Specific Platforms and Chikyu WS）Phase1を1月にオンラインで行った。Final reportが完成して公開される。Phase2は、2023年3月後半に対面開催の予定。開催候補地は和歌山。
- 上記国際WSに先立つ国内WSも計画中。

5. その他

- 次回WG会合は、7月に入ってからセミナーと同時に実施予定。

以上